

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々に施設行事等に招待し、参加して頂いている。また、町内行事（夏祭り）にも参加し、地域とともに楽しく、安全に、普通の生活（ノーマライゼーション）が送れるようにしている。	○	
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	就業規則や日々の介護等を通して個性（その人らしさ）と尊厳を支えるケアを徹底している。	○	
3	—	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や地域に対して開かれたホーム作り（ホームの見学・行事外出の参加）を行っている。	○	
2. 地域との支え合い					
4	—	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの食材の買い物を、地域に出て直接行っている。町内行事に積極的に参加し、関係作りに努めている。	○	
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内行事にご入居者と共に参加し、交流を図っている。	○	
6	—	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域に開かれたホームとして、畑・花壇を作り、地域の方々との交流を図っている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月1回のミーティングの中で、ケアのレベルアップを図れるよう改善に努めている。	○	
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、活動報告・生活状況等の情報共有を行い、生活の質の向上に努めている。	○	
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連絡をこまめに取り、サービスの質の向上に努めている。	○	
10	7	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度に関するパンフレット等により、ご本人・ご家族に入居前にご説明し、職員にも入職前に周知している。	○	
11	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・月1回のミーティングにて、高齢者虐待についての話し合いを持っている。虐待の現場を発見したら、管理者・市町村に通達するよう周知しており、管理者が虐待している場合にも行政等へ通達する旨を職員に周知している。	○	
4. 理念を実践するための体制					
12	—	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書において、十分に説明を行っている。また、疑問点についても十分に確認し、不安や不信感を与えないように努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
13	—	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご入居者の不満・苦情など一人ひとりの話をいつでも聞ける環境作りに努めている。各入居者担当職員が密に関わり、職員間で情報を共有し、改善するよう努めている。	○	
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、介護記録と共に生活状態の報告を口頭にて行っている。また、管理者・各入居者担当職員が個別に電話連絡(最低月1回)を行っている。	○	ご家族と職員の関わりの場が少ないため、都合がよければ、ミーティング等の話し合いに参加して頂きたい。より、そのご入居者を理解し、また、ご家族の要望を聞き、職員とご家族間での情報共有や信頼関係を築きたい。
15	9	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情を受け入れる職員を明確にし、意見を発しやすい雰囲気作りに努めている。毎日の申し送り、月1回のミーティングにて改善を図っている。	○	
16	—	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り・月1回のミーティングにて、意見や提案を聞ける体制を取り、反映されている。	○	
17	—	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご入居者の状態や個別支援実現のために、随時、勤務時間の変更等を行い、職員の理解・協力を求めている。	○	
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職を必要最小限に抑えるために、法人内の職員の安定確保、職員一人ひとりへの配慮を行っている。ご入居者の方々への事前の説明と、適任適材を行っている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
5. 人材の育成と支援					
19	11	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	法人は性別・年齢等の制限を設けず、求職者全員の面接を行っている。各個人の得手不得手を理解し、その能力を活かしながら、社会参加や自己実現の権利が充分保障されるよう配慮している。	○	
20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ご入居者の人権を尊重するため、すべての職員に対して人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	○	
21	13	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員採用時にそれぞれの段階に応じた研修を設け、その内容をすべての職員に周知している。	○	
22	14	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホーム「みどりの里」との交流を図っている。	○	
23	—	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の業務上の悩みやストレスを軽減・解消する方策に取り組んでいる。(希望休や有休を取れる体制作り・職員相互の親睦・悩みの傾聴等)	○	
24	—	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員採用時・レベルアップ時等それぞれ段階に応じた研修を受講し、その内容をすべての職員に周知している。また、職員同士が意見を出し合い、互いに刺激し合うことで、各職員のやりがいが出るよう工夫している。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
25	—	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人の想いや不安を1対1でゆっくりとお聞きし、ご本人との信頼関係作りに努めている。	○	
26	—	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話・訪問で入所依頼を受けた際は、相談を受け、少しでも疑問や不安が解消されるよう支援している。見学時は管理者等適切な職員が対応し、お話を伺っている。	○	
27	—	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談において、ご本人の状況及びその周辺環境をお聞きし、出来る限り適切なサービス利用等を助言している。電話による問い合わせの場合は、なるべく来荘し、見学・面談されるようお願いしている。	○	
28	15	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時におけるご本人の不安解消を図るため、入居前の見学をして頂き、入居の際には職員がしっかりと関わりを持ち、少しでも楽にホームに馴染めるように努めている。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
29	16	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	採用時、新入職員研修にて、常に入居者とは対等であり、尊厳を持ってケアにあたるよう教育している。喜怒哀楽を共にし、時間を共有することで、支え合う関係作りに努めている。	○	
30	—	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、一緒に食事を摂ったり、排泄支援をして頂くことで、在宅のように感じ、職員と共に支え合う関係作りに努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
31	—	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご入居者の誕生日会や敬老会・新年会を行い、ご家族の参加をお願いしている。なるべくご家族との外出・外泊をして頂くよう支援している。	○	
32	—	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅訪問や、馴染みのスーパーにお連れしている。30年来の美容室を継続利用して頂くよう、ご家族と共に支援している。	○	
33	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	ご入居者同士の会話や交流の場面作り、楽しい雰囲気作りに努めている。仲の良いご入居者同士と一緒に過ごせるよう配慮する、孤立しがちなご入居者が輪に入れる機会を作る等、助け合い・支え合いの関係が出来るよう支援している。	○	
34	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院されたご入居者には、職員がお見舞いに行くようにしている。ご家族からの状況報告にて、関係を保っている。	○	
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
35	17	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常日頃からご入居者一人ひとりの想いをお聞きし、受け止め、実現できるよう支援している。	○	
36	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの聞き取り、ご本人との会話から把握している。また回想法にて、これまで歩んできた暮らしを理解するよう努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
37	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日その日の状況に応じ、ドライブに出かけたり、買い物に出かけたりしている。また、食事の準備や後片付け、洗濯たたみ等を一緒に行い、ご入居者の出来る力・わかる力を理解し、支援している。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご入居者のバックグラウンドを理解・把握し、一人ひとり望ましい生活像を目標に携え、ご入居者・ご家族とアセスメントを行っている。	○	
39	19	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に実施期間を明示して、その期間が終了する際に見直しを行う事はもとより、状態変化に応じた見直しを行っている。	○	
40	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者が発した言葉をそのまま記録し、職員間での気づきに繋げている。日々のケアや介護計画に反映させるため、ご入居者それぞれの特徴や変化を具体的に記録している。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご入居者の「今日はどうどんが食べたい」「今風呂に入りたい」や、ご家族の「〇〇病院に連れてって欲しい」等状況・意向・要望に出来る限り沿えるよう、支援している。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
42	—	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご入居者の意向に基づき、長尾小学校自治連合会様と協働し、夏まつりや花火大会に参加し、地域資源を有効に利用している。	○	

福岡県 グループホーム 双葉荘 地域密着型サービス外部評価の自己評価票 (網掛け部分は外部評価の調査項目)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
43	—	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	ご入居者一人ひとりの想いをお聞きし、受け止め、実現できるように、福祉サービスに限らず、多方面で利用等を支援している。	○	
44	—	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、ホームに対してのアドバイスを頂いている。	○	
45	21	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者やご家族の、希望やかかりつけの医療機関・歯科医療機関を受診して頂いている。	○	
46	—	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	小倉蒲生病院の認知症専門医と受診等で関係を築いている。	○	
47	—	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホーム併設の地域密着型介護老人福祉施設常駐の看護師に相談、対応してもらっている。	○	
48	—	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、早期退院の為の話し合いや協力を医療機関と行って、早期退院に努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	併設の地域密着型介護老人福祉施設第二双葉苑での重度化・看取りについて、ご本人・ご家族に相談中である。	○	
50	—	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	併設の地域密着型介護老人福祉施設第二双葉苑での重度化・看取り体制と同様、4月から医療連携体制を行うことで、チームとして支援できるようにしている。	○	
51	—	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境や生活の変化による不安や困り事が、出来るだけ少なくなるように、ご本人にかかわる関係者全員と協力している。	○	
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
52	23	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常にご入居者の人格を理解・尊重し、誇りやプライバシーを大切にしている。記録物や個人情報をホーム外に出すことを禁止している。(緊急搬送時・受診時等除く)	○	
53	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員はご入居者の自己決定を促し、それを実現できるよう支援している。	○	
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間・入浴時間はなるべく希望に沿えるよう支援している。職員都合や業務優先にせず、ご入居者のペースに合わせるよう努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
55	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し 理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご入居者一人一人の嗜好や個性を大切に した髪型、服装、おしゃれを支援している。 また、ご入居者の希望をお聞きし、対応 している。(カット・毛染め・パーマや美 容院への外出)	○	
56	25	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利 用者と職員と一緒に準備や食事、片付 けをしている	メニュー作りや、食材選びをご入居者 と共に、出来る限り買い物や調理を一 緒に行っている。嫌いなメニューの場 合、そのご入居者のみ別メニューで 対応させて頂いている。	○	
57	—	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、 たばこ等、好みのものを一人ひとりの 状況に合わせて日常的に楽しめるよう 支援している	ご本人希望時、お酒・飲み物・おやつ を楽しんで頂いている。(体調・病状に よって、量・回数の制限あり)	○	
58	—	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして気持ちよく排泄できるよ う支援している	ご入居者一人一人の排泄パターンを 掴み、個別対応している。その方に 合った下着、パットを使用し、快適に 過ごして頂けるよう支援している。	○	
59	26	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めて しまわずに、一人ひとりの希望やタイ ミングに合わせて、入浴を楽しめるよ うに支援している	ご入居者の意思を必ず確認し、希望 に沿えるよう支援している。入浴を 楽しんで頂けるようゆっくりと時間 を取っている。	○	
60	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の 状況に応じて、安心して気持ちよく 休息したり眠れるよう支援している	ご入居者の睡眠リズムを重視し、心 地良い睡眠がとれるよう支援してい る。休息は日々の日課や疲労に応じ て、一服したり、心身を休める場 面を個別に設けている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活の中で、状況に応じお手伝いをして頂く。また、お手伝いを通して、職員や他ご入居者との会話が增え、楽しみが持てるよう努めている。	○	
62	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者がご自身でお金を持つことの大切さを職員が理解し、日常の金銭管理を行えるよう、ご入居者の希望や能力に応じて支援している。ご家族にもお金の所持の意味と必要性をお伝えしている。	○	
63	28	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム併設の地域密着型介護老人福祉施設や畑まで散歩に出かけたり、出来るだけドライブや買い物に出られるよう努めている。	○	
64	—	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族へ協力をお願いし、実現するよう支援している。	○	
65	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者自ら好きな時に電話をかけて頂いている。	○	
66	—	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	ご家族が気軽に訪問できるような雰囲気作りに努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(4) 安心と安全を支える支援					
67	—	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回のミーティングの中で、すべての職員が身体拘束によって生じる身体的・精神的弊害について周知している。	○	
68	29	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	すべての職員が鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は開放している。(現在冬季の為、希望時開放している)	○	
69	—	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	排泄時・更衣時など、扉を閉め、プライバシーに配慮している。昼夜通して、定期的に所在確認や様子観察を行い、安全確保に努めている。	○	
70	—	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご入居者一人ひとりの居室にはその人らしさを大切にした環境を取り入れ、在宅と同じような生活をして頂けるように支援している。	○	
71	—	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態が発生した場合、事故報告をするようにしており、サービスの改善に繋げている。	○	
72	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態発生時の対応マニュアルがあり、すべての職員が内容を周知している。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火事等の緊急な事態に備え、避難経路及び避難場所に確保をしておくと共に、すべての職員が誘導方法を周知している。	○	
74	—	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについては、口頭にて説明し、ご家族の意向・要望を確認している。アセスメントをし、ケアプランに反映、ご家族に同意を得て実施できるようにしている。	○	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
75	—	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックで異常があった場合は、すぐに管理者に報告し、指示を受けている。管理者の判断により、病院受診・緊急搬送時、迅速な対応を行っている。	○	
76	—	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員はご入居者が使用する薬の目的や副作用、用量や用法を把握しており、ご入居者一人ひとりが医師の指示通りに服薬できるように支援し、症状の変化を確認している。また、誤薬のないよう薬箱を設置し、何度も確認している。	○	
77	—	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は便秘の原因や及ぼす影響を十分に理解し、予防と対応に努めている。食物繊維が多い食品を取り入れたり、便意を促す運動を勧めたりと、安易に薬に頼らず、排便コントロールができるように支援している。	○	
78	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご入居者の有する力を活かしながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日々支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい・仕上げ等の支援、出血や炎症のチェック等)	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者一人ひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを、1日を通しておおよそ把握している。また、各人の食事をチェックしており、食事量の少ない方には個別に提供している。	○	
80	—	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルに沿って、感染症に対する予防の対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ・疥癬・肝炎・MRSA等)	○	
81	—	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに沿って、衛生管理には十分に配慮している。ほぼ毎日、食材を直接買いに行き、新鮮な物を提供している。食器類は食器洗浄機にて、扇情・高温乾燥させている。定期的に漂白をし、より衛生面に注意し、食中毒を防いでいる。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
82	—	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	違和感や圧迫感などを感じさせず、ご入居者やご家族が入りやすく、地域の住民も訪ねやすいよう、玄関周りや建物の周囲に草花を植えたりして、家庭的な雰囲気作りに配慮している。	○	
83	32	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の生活空間(玄関・廊下・居間・台所・リビング・浴室・トイレ等)がいずれも家庭的な雰囲気を持たせてあり、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。各場所に花壇で咲いた花や植木を置き、心地よい空間作りに努めている。	○	
84	—	あ 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中に、ご入居者が一人になったり、気の合う入居者同士で自由に過ごせるような居場所作りに努めている。プライバシーを確保しながら、安心して過ごせる環境作りに努めている。	○	

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
85	33	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や、馴染みの生活用品、装飾品、仏壇が持ち込まれ、安心して過ごせるような空間となっている。	○	
86	—	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になる臭いや空気のとどみがないように、適宜換気を行い、温度調節に配慮している。ご入居者一人ひとりの体感温度があり、寒がりな方には厚着して頂くなど、適温を保つようにしている。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
87	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・浴室・トイレ等、手すりが必要不可欠の場所には設置して、出来る限り自立して生活出来るように支援している。また、ご入居者の動線上には転倒しないように、環境整備に努めている。	○	
88	—	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご入居者に応じたアセスメントを行い、ケアプランを基に、職員一丸となって、ご入居者一人ひとりの個性を活かしたケアに努めている。	○	
89	—	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑や花壇まで散歩に出掛けたり、芋掘り等の収穫をしたりと楽しんで頂いている。併設の地域密着型介護老人福祉施設に行き、2階のウッドデッキをみなさんと散歩し、交流の場も兼ねている。	○	

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
V サービスの成果に関する項目				
90	—	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
91	—	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
92	—	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	—	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	—	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	—	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	—	○利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	—	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
98	—	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
99	—	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
100	—	○職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
101	—	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
102	—	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ほぼ毎日地域へ出て買い物を行い、旬の食材で心を込めて調理している。買い物時、ご入居者と共に食材を選び、季節や昔の習慣を感じていただいている。開設し一年未満のため不完全な部分が多々あるが、今後はレクリエーションの充実や外出等、ご入居者と職員が共に楽しむ機会を増やしていきたい。